

収入計算書〔前年（2022年1月～12月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 京都工芸繊維 大学 工芸科学 研究科

○課程（該当の数字に○）：

1. 修士・博士前期課程
2. 一貫制博士
3. 博士後期課程
4. 法科大学院
5. 専門職大学院課程（法科大学院を除く）
6. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程

○申込者氏名 _____ ○学籍番号 _____

[各項目1万円未満切り捨て]

前年（2022年1月～12月）の収入額 【証明書類必要】		
	収入項目	収入額（A）
定職 ◎	定職（本人）	（年額） 万円
	定職（配偶者） [該当者のみ]	（年額） 万円
アルバイト ◎	アルバイト1	（年額） 万円
	アルバイト2	（年額） 万円
	アルバイト3	（年額） 万円
父母等からの給付額（★）		（年額） 裏面の合計金額 万円
奨学金		（年額） 万円
その他の収入（利子・配当・不動産 ・年金等の公的手当て・預貯金の取崩等）		（年額） 万円
ア	収入額合計	（年額） 万円

【記入時の注意事項】

◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

- ・アルバイトごとに「令和4年分源泉徴収票」のコピー、もしくは「給与支払い証明書」に記載の年額を記入
- ・退職したアルバイト等の金額も含める

★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

返還確認票等から2022年1年～12月の年額を算出し、記入機関保証の場合、保証料を含めた金額を記入

【重要】

収入額合計は、0万円とにならないよう記入してください。

- ・この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込（前年に対して変動が見込まれる場合に限る）の収入金額をスカラネットに入力してください。
- ・必要となる証明書類は裏面に添付してください。 [裏面につづく]

合計が正しいか確認

証明書類貼付欄

- ・ 証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部2点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 _____

○給付者氏名【自署】 _____ ○申込者との関係（続柄） _____

【千円単位：合計欄のみ1万円未満切捨て】

(2022年)

1月	千円	8月	千円
2月		9月	
3月		10月	
4月		11月	
5月		12月	
6月		小計	万円
7月			

【月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。】

前年用と本年見込用が表面の位置とは左右反対になっておりますので、ご注意ください。

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。
「奨学金案内」冊子、【用紙①】及び【用紙③】より外してご利用ください。

本年見込用(表)

変動ある場合のみ

収入計算書 [本年見込 (2023 年 1 月～ 12 月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

【収入の状況】（以下の該当する方に、「○」を付けてください。）

いずれかを選択

<input type="radio"/>	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。
<input type="radio"/>	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 変動します ので、以下のとおり報告します。

このページは記入不要。

両ページの各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目も同じ金額を記入）。

【各項目 1 万円未満切り捨て】

本年(2023年1月～ 12月)の収入見込額		【証明書類必要】	
	収入項目	収入額 (B)	
定職 (○)	定職 (本人)	(年額)	万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額)	万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額)	万円
	アルバイト 2	(年額)	万円
	アルバイト 3	(年額)	万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) 裏面の合計金額	万円
	奨学金 (申込中の奨学金は除く)	(年額)	万円
	その他の収入 (利子・配当・不動産 ・年金等の公的手当て・預貯金の取崩等)	(年額)	万円
イ	収入見込額 合計	(年額)	万円

収入の若干のゆらぎについては変動に含みません。
変動したとは、別の勤務先が変わったり、アルバイトの数が変更になった場合を指します。

【記入時の注意事項】

◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

・アルバイトごとに「直近3ヶ月以上の給与明細」または「年収見込証明書」から算出した金額を記入
・申請時時点で退職したアルバイト等は含めない。

★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

合計が正しいか確認

【重要】

収入額合計は、0 万円とならないよう記入してください。



本年收入見込額を「0円」とすると、前年の収入額合計で審査されます。

返還確認票等から2023年1月～12月の年額を算出し記入
申請月までに終了した奨学金は含めない
これから申請する奨学金は含めない

・必要となる証明書類は裏面に添付してください。

【裏面につづく】

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、このページの記入は必要ありません。

本年見込用（裏）

証明書類貼付欄

- ・ 証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部2点を留めてください。
- ・ 収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

直近3ヶ月の給与明細と年収見込申告書によりアルバイト等の年収を申告する場合は、下記の通り計算し申告書を作成してください。

直近3ヶ月分の給与合計 ÷ 3 = 1ヶ月当たりの給与額を算出
 1ヶ月当たりの給与額 × 12ヶ月 = 2023年（本年）の年収見込み額を算出

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 _____

○給付者氏名【自署】 _____ ○申込者との関係（続柄） _____

[千円単位：合計欄のみ 1万円未満切捨て]

(2023年)

1月	千円	8月	千円
2月		9月	
3月		10月	
4月		11月	
5月		12月	
6月		合計	万円
7月			

[月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。]

前年用と本年見込用が表面の位置とは左右反対になっておりますので、ご注意ください。